（別添資料１）

事業所名	ぷりずむ	支援プログラム（参考様式）	作成日	2026 年	3 月	20 日

法人（事業所）理念	・子どもたちが安心・安全な場所で成長できる環境を提供します。 ・子どもたちに活動を通し、楽しさや厳しさを伝え自信に繋げます。 ・子どもと家族が笑顔で過ごせるように地域と連携し支援します。					
支援方針	・障がいの特性や様々な生活環境に対応し、子どもの自立を促進、生活の質の向上、集団生活に適応できるように適切な支援を行います。 ・障がいの理解を深め、子どもたちが何に興味を持っているのかを把握し、様々な体験をすることで感性を磨き、自分で出来る喜びを積み重ね成長に繋げます。 ・障がいの有無に関わらず、身近な地域で適切な療育が受けられる空間を提供します。					
サービス提供時間	放課後	１４：３０ ～ １７：３０	学校休業日	１０：００ ～ １６：００	送迎実施の有無	あり（一部相談）
営業時間	放課後	１４：３０ ～ １７：３０	学校休業日	１０：００ ～ １６：００		

		支　援　内　容	備考
本人支援	健康・生活	・来所時および降所時の身辺整理の自立や検温等の健康管理の自立に向けて子ども達それぞれにあったペースで支援しています。	※５領域共通の取り組みとして、５領域に分けた事業所独自のアセスメント様式（「現状確認表」）を活用し、本人の自立状況の把握や支援の必要性等を職員間や保護者と視覚的に共有できるようにしています。
	運動・感覚	・集団での設定遊びを日々の活動の中に取り入れ、遊びの中で普段の生活では使わない身体の動かし方や平衡感覚を刺激する体験をしています。 ・主に学校休業日に地域の体育館を利用して、球技やニュースポーツ等の運動機会を作っています。 ・月ごとにテーマを用意した制作活動や皿洗い等のお手伝い活動を通じて、手先指先の感覚を刺激する体験をしています。	
	認知・行動	・子ども達それぞれに合った場面の切り替えに必要なツールや方法を用意し、スムーズな移行につなげられるよう支援しています。 ・自由遊びの中でも、相手のことを意識できるような遊び(宝探し、ＵＮＯ、新聞紙キャッチボール等)を用意したり、導入しやすいような関わり方をスタッフの方で工夫しています。	
	言語 コミュニケーション	・その子の発達段階に合わせて適切なコミュニケーション方法を身に付けられるよう、様々な活動の中でアプローチの機会を作っています。 ・その子が持っている「伝える」方法によっては、相手に伝わる適切な方法へ修正できるよう支援しています。	
	人間関係 社会性	・他者と喜びや楽しさを共有できるような集団遊びを設定したり、自由遊びの中で行えるようなツールを用意するなど環境整備を工夫しています。 ・主に遊びを中心に「一緒に遊びたい」「仲良くなりたい」など子ども達それぞれの想いを汲み取り、実行できるようスタッフが寄り添いフォローしています。	

家族支援	・保護者会を開催し、保護者様同士が交流できる機会を作っています。 ・帰りの送迎時、ご家庭での様子に変化がないか、ご家族の悩み事がないかを確認できるようにしています。	移行支援	・同法人内での移行の場合には、定期的に体験や見学の場を作り、ご本人がスムーズに移行できるよう支援しています。
地域支援・地域連携	・地域の体育館を定期的に利用する等、地域とインクルーシブな関係構築を意識しています。 ・地域の公園等の清掃活動を行い、より良い関係作りを意識しています。	職員の質の向上	・毎月テーマ別で社内研修を実施しています。 ・共有のツールを用意し最低限の質の確保につなげています。 ・自治体の外部研修や資格研修に参加するようにしています。
主な行事等			